

市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2000年 5月号

平成12年4月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

ボランティア国際年



2001

2001年はボランティア国際年です。

【NPO室から】

成立したNPO法人は35団体、今月分の申請は3団体です。

今回、新たに3つの団体が特定非営利活動法人(NPO法人)として成立しました。申請中の団体と併せて紹介します。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

4月～6月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

環境、演劇、防災などなど。様々な分野からよびかけが集まりました。あなたの気になる分野もきっとあるはず。ぜひ、ご参加ください。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は9件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

防災ボランティアネットワーク松阪代表世話人 **堀端脩** さん

ほりばたおさむ

松阪市の地域ネットワークをベースに、足元からの防災を考える防災ボランティアネットワーク松阪の代表である堀端さん。今年11月12日に開催を予定している防災体験フェスティバルin松阪(仮称)の準備でも中心人物として活動しているそのパワーの秘密をうかがいました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

【NPO室より】

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は3団体ありました。成立した団体は3団体です。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1) 名称、(2) 申請年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 縦覧期間、(6) 認証の種別、(7) 定款に記載された目的。

【51】

- (1) 特定非営利活動法人紀南国際交流会
- (2) 平成12年3月30日
- (3) 戸地 功
- (4) 南牟婁郡紀宝町平尾井1395番地
- (5) 平成12年5月30日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、地域の特性を生かした幅広い国際交流活動を行うことにより、国際親善を図り、もって世界の友好と平和に寄与することを目的とする。

【52】

- (1) 特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
- (2) 平成12年4月5日
- (3) 釜谷 恵子
- (4) 松阪市新町926番地
- (5) 平成12年6月5日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、子どもを視野においた個人や諸団体の連絡、支援、交流などを行うことにより子どもの健全育成を図る活動をさらに推進し、もって子どもの生活体験、鑑賞体験、社会参画の機会の拡充を図り、かつ、子どもの全人的な成長に寄与することを目的とする。

【53】

- (1) 特定非営利活動法人わたぼうし
- (2) 平成12年4月6日
- (3) 館 忠蔵
- (4) 阿山郡伊賀町希望ヶ丘西4丁目2番7号
- (5) 平成12年6月6日まで
- (6) 設立
- (7) この法人は、伊賀地域の住民に対して、子育ての環境の向上に関する事業、高齢者、障害者等への支援事業、及びリサイクル等の環境保全事業を行うことにより、安心して生きがいのある暮らしを実現し、もって、健康で文化的な生活による、まちづくりに寄与することを目的とする。

(平成12年3月16日～平成12年4月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人

(1) 名称、(2) 認証年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 定款に記載された目的、(6) 登記年月日

【33】

- (1) 特定非営利活動法人水琴の会
- (2) 平成12年2月21日
- (3) 西村隆宏
- (4) 四日市市泊町6番7号
- (5) この法人は、長い歴史を持つ日本の音楽文化の伝承を目的とした文化活動によって、自国に誇りをもち、誰もが目標をもって輝いて生活できるような社会環境を構築することをもって、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。
- (6) 平成12年3月3日

【34】

- (1) 特定非営利活動法人「ゆめ・であい・ふれあい」ネットワーク松阪
- (2) 平成12年2月25日

- (3) 福山 弥
- (4) 松阪市東町157番地3
- (5) この法人は、部落差別をはじめ、いっさいの差別撤廃と人権確立をはかるため、調査、研究、啓発、人権相談、要請活動等の事業を実施し、あらゆる人権問題のすみやかな解決に寄与することを目的とする。
- (6) 平成12年3月10日

【35】

- (1) 特定非営利活動法人四日市こどものまち
- (2) 平成12年3月8日
- (3) 藤原和彦
- (4) 四日市市松本三丁目9番6号
- (5) この法人は、こどものための博物館を通して、子どもたちが遊びながら楽しめる場を提供するとともに、市民に対しての普及啓発活動等を推進することにより、子どもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。
- (6) 平成12年3月15日

(平成12年4月14日現在)

緊急雇用対策者事業・地域NPO活動基盤整備事業 受託者募集

社会サービスおよび雇用の場の提供者として、NPOへの期待は高まっていますが、NPOは組織運営においてはまだまだ脆弱なものが多いのが現状です。今後NPOがこうした期待を担うためには、自立したNPOがどんどん生まれ、活動ができる環境の整備が必要との考えから、県内各地域におけるNPO活動の基盤整備を行う市民団体を支援することが望ましいと考えています。

そこで当事業では、県内7カ所程度を目途に、市民団体に基盤整備事業を委託します。基盤整備の内容については、各地の市民団体が地域性を考え、創意工夫することが望ましく、企画提案者から提出されたNPO活動の基盤整備事業提案書、および各市民活動団体に対して実施したヒアリングで説明された事柄などを参考資料として、事業委託団体を選定します。

●委託内容／県内各地域におけるNPO活動の基盤整備
(例示) ネットワークづくり、情報提供、起業・運営セミナー、活動相談、交流会の開催、基金設立など

●委託期間／契約成立の日から最長6ヶ月

●予算規模／1カ所150万円程度で県内7カ所を予定。なお、当事業は雇用創出を目的としていることから、委託費に占める人件費の割合が70%程度となることをめやすにしてください。

【事業説明会】

●とき／5月18日(木)PM1:30

●ところ／三重県市民活動センター(津市栄町1-954三重県民サービスセンター4階)

●申込・問い合わせ先／三重県生活課NPO室(若林)

Tel.059-224-2623 Fax.059-224-2072

4月末～6月に開催される

市民活動に関する 講演会やイベントです

カンナが結ぶ花サミットin久居

●とき／4月29日(祝)

●ところ／ジャスコ新久居店正面玄関

●内容／嬉野に育ったカンナの花がこんなに大きく、こんなに広がりました。三重県内各地に広がったカンナを植える活動の輪を写真パネルに。嬉野日赤奉仕団やまゆり会ははじめ、古市やすらぎの里づくり協議会、花街道、鈴鹿市加佐登支所、宮川村環境課、近畿日本鉄道、緑のNPO活動支援センターなどの活動を紹介します。球根と花をセットにしたものを赤十字難民救済バザーとして実施するほか、子どものための葉っぱのアート、元気な子どものためのキッドビクス、尾鷲・久居市幼・小・中学校に球根100株ずつ贈呈します。

- 主催/日赤奉仕団やまゆり会
- 後援/日赤三重支部、三重県環境保全事業団 緑のNPO活動支援センター
- 協力/ジャスコ新久居店
- 申込・問い合わせ先/宇留田敬子 Tel.05984-2-2703

性産業に送り込まれる前に、子どもたちを救いたい 貧しさにつけ込み金儲けをたくらむ輩は許せない タイ山岳少数民族少女 応援キャンペーン

【現地報告写真展】

- とき/4月29日(祝)~5月7日(日)AM10:00~PM8:00
- ところ/ショッピングセンターサンズ3階(鈴鹿市白子)
- 内容/「貧しくて子どもは売れません」と語り、麻薬・人身売買の最前線で頑張る山岳少数民族村を訪ね、撮影した写真を展示します。同時にタイ少数民族少女作品、展示即売も開催します。
- 問い合わせ先/unicefみえネットワーク・フォトボランティア連絡所(宇田カメラ) Tel.0593-86-3252

【「麻薬・人身売買の最前線を行く」

私たちを呼んで。現地報告会の出前をします。】

ボランティアの各種研修会などで現地報告会の出前をします。担当は平成11年度に現地を訪問した三重県高校生ボランティアOGメンバー10名です。親の借金の肩代りのため、わずかなお金で身売り、風俗店で働く同世代の女性の素顔にふれることも出来ました。「早く借金を返し、郷里に帰って好きな人と一緒に暮らしたい。でも、また、親は借金をするだろうな」寂しく語った彼女の一言が忘れられません。「叫ぶことのできない少女たちの声になりたい」そんな思いで一杯です。

- 申込・問い合わせ先/510-0242 鈴鹿市白子本町19-29 山岳少数民族少女応援キャンペーンコーディネーター 杉谷哲也 Tel.&Fax.0593-86-6881 勤務先Tel.0593-74-3101 (石薬師高校)
- 呼びかけ/(財)日本ユニセフ協会三重友の会、unicefみえネットワーク、三重県高校生ボランティアOBチーム

☆児童福祉週間子どもまつり ☆

- とき/5月13日(土)開場PM1:00、開演PM1:30
- ところ/津市社会福祉センター4F児童館(駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください)
- 参加費/入場無料
- 内容/人形劇団京芸による公演「どろんこげきじょう」を行います。小さい子どもたちにぴったりの明るく元気な、そして夢の広がるお話。「うんちしたのはだれよ!」ほか2作品を上演します。
- 主催・問い合わせ先/津市社会福祉センター Tel.059-227-6548
- 企画協力/特定非営利活動法人津子どもNPOセンター Tel.&Fax.059-225-1404

テリー・フォックス・ランINみえ

- とき/5月14日(日)AM10:00~PM4:00
- ところ/松阪市中部台体育館、運動公園
- 参加費/1000円以上(全額カナダと愛知県のがんセンターに研究費として寄付されます)
- 内容/がんに冒されながらも自ら走ってがん研究基金を募ったテリー・フォックスの意志を受け継いだ国際チャリティーイベントで

す。午前中は体育館にて、「がんと共に生きる」をテーマにパネルディスカッション、午後は公園で、ラン&ウォークを行います。ステージでの音楽演奏などもあります。

- 問い合わせ先/実行委員会事務局(上村真由)Tel.0598-51-3741

エコ・フェスタ2000

- とき/5月14日(日)AM10:00~
- ところ/久居市総合体育館(久居市野村町887-1 Tel.059-255-6081)
- 内容/「環境」をテーマにしたイベント。エコ商品の展示や市民団体・行政の展示のほか、リサイクルコンテストやフリーマーケット、体験コーナー、ゲーム、クイズ大会など盛りだくさんの内容で、大人から子どもまで楽しめます。ぜひ、家族で出かけてみてください。なお、リサイクルコンテストでは出場者を募集しています。詳細は下記まで問い合わせてください。
- 問い合わせ先/(社)久居青年会議所事務局 Tel.059-256-0123 Fax.059-255-4433
- 主催/(社)久居青年会議所
- 後援/三重県、久居市および教育委員会、一志郡各町村および教育委員会

沖縄の戦後を描いた映画「MABUI」上映

- とき/5月17日(水)開場PM6:00 上映PM7:00~PM8:40
- ところ/鈴鹿市文化会館けやきホール
- 参加費/大人1400円(当日1700円)、高校生800円、小学生500円
- 内容/映画「MABUI」は沖縄戦の史実をリアルに描いた「GAMA・月桃の花」の続編として製作されました。マブイとは沖縄の言葉で魂、またはゆるぎない真心(精神の核)という意味。映画は1945~1950年の沖縄を舞台に、戦後を生き抜く体験を通じて、少年たちが「自立」を見いだしていく物語です。当日は映画上映と同時に沖縄戦写真パネル展も行います。
- 問い合わせ先/「MABUI」鈴鹿上映実行委員会(板倉みさお) Tel.&Fax.0593-83-1962

新Npo:EcoVision

~環境コンセンサス会議実験事業~

- とき/第1回:5月20日(土)、第2回:5月27日(土)、第3回:6月10日(土)、第4回:6月17日(土) PM1:00~PM5:00
- ところ/三重県市民活動センター
- 参加費/合計参加費1000円(報告書印刷費として)
- 内容/自然エネルギーの太陽光発電。本当に環境にいいの?たくさんある疑問を、正解は誰もわからないだろうけど、自分たちで考えるパワーをつけていこう!みんなの意見をまとめることは多分できないけれど、論点を明確にし、長期的には政策決定手段に利用できるようにするといいなと考えています。津市でのテーマは「太陽光発電の経済性・環境性」。なお、名古屋でも5月19日(金)から毎週金曜日に「環境ホルモンはどれだけ恐くて、どれだけ安全か?」をテーマに会議が行われます。
- 募集人数/10人
- 申込方法/事前申込
- 申込・問い合わせ先/愛知県豊橋市天伯町美吉11-1 萩原荘 C-6 中野勝行 Tel.090-8954-2328 E-mail nakano@helium.eco.tut.ac.jp

「地域マネー学習会 in SUZUKA」

- とき/5月20日(土) PM1:30~PM4:30
- ところ/鈴鹿青年会議所会館(石垣池公園北側)
- 参加費/500円
- 定員/30名
- 内容/地域マネーに関心はあるけれど、いまひとつシクミや投げかけ方がわからないあなた、一緒に地域マネーについての勉強しませんか。「鈴鹿地域マネー研究会」そのものが、「地域マネーに関心はあるけど一人では何から手をつけてよいやら分からない」という者が集まって4月に結成したばかりの組織です。研究会メンバーも同時募集します。
- 申込方法/住所、氏名、連絡先(電話番号など)を知らせてください。
- 申込・問い合わせ先/鈴鹿青年会議所会館事務所(鈴鹿JCまちづくり委員長 阪田朋成) Tel.0593-82-6288 Fax0593-82-3550
- 主催/鈴鹿地域マネー研究会

ザ伊勢講「第3回 世古歩き隊」

- とき/5月21日(日)AM9:00~正午(小雨決行)
- ところ/百五銀行河崎支店駐車場集合
- 内容/ザ伊勢講では平成8年より世古研究会を設け伊勢のまちづくりにとって貴重な資源である「世古」について研究活動を進めてきました。しかし現状では歴史ある世古の地域文化財としての価値認識が薄いように思われます。由緒ある世古が知らないうちに失われ、貴重な町並みが変わっていきたくないと、今ある世古の現地調査を再度行い、我々として「保全、活用すべき世古」を把握し、その位置づけを行い、また建築基準法の改正も視点にいれ、まちづくりに具体的に生かしていきたいと考えています。第3回は伊勢市河崎地区を歩きます。

- 問い合わせ先/ザ伊勢講事務局 高橋徹
Tel.0596-24-3715
Fax.0596-23-6645
- 共催/伊勢河崎まちづくり衆



チェルノブイリ14周年・救援の輪を広げよう!

三重・チェルノブイリ被曝児童 救援募金発足10周年記念企画

- とき/5月27日(土)開場PM1:00 開演PM2:00
- ところ/津リージョンプラザお城ホール
- 参加費/2000円(高校生以下1席1000円)
- 内容/事故から14年、世界中の人々から忘れられて行く中で、ますます厳しくなる現地の人々(事故当時の子ども、事故後誕生した子どもも青年期に入りつつある)の健康上・生活上の困難を多くの人々に伝え、人道的救援活動を拡大するために開催します。また、三重におけるこの救援活動満10周年を記念し、足跡の反省と今後の活動のあり方について考えたいと思います。当日は10年の歩みの報告、スライドを使って行う広河隆一さんのチェルノブイリ現地報告、ナターシャ・グジーによる救援コンサートを行うほか、ホールのホワイエにて広河隆一チェルノブイリ記録写真展も行います。
- 問い合わせ先/団体事務局(リサイクルショップチェルノブイリ)
Tel.&Fax.059-224-5622
- 主催/三重・チェルノブイリ被曝児童救援募金

映画「学び座」上映

- とき/6月3日(土)開演PM6:30
- ところ/三重県女性センター多目的ホール
- 参加費/特別会員券2000円
- 内容/今、子どもたちの心は深く傷ついています。家庭で学校で地域で、「勉強ができることがすべて」という一つの価値観で何十年と計られてきた重さに耐えきれなくなり傷口がどんどん広がってきています。それでも、子どもたちは親を愛し、仲間を求め、地域に生きようとしています。そして、その気持ちの表現をどうしていいかわからずとまどっているように思えます。服装、態度、言葉、一つひとつの中に子どもたちの心の叫びがあると感じます。私たちは大人としてその子どもたちとどう向き合い、子どもたちの心をどう受け止めていけばいいのでしょうか。
- 申込・問い合わせ先/津市島崎町132-40 津子どもNPOセンター Tel.&Fax. 059-225-1404

エコフェスタ 「ゴミゼロの日」

～できることは きっとたくさんある～

- とき/6月4日(日)AM10:00~PM3:00(雨天決行)
- ところ/上野市立西小学校(上野市丸之内)
- 参加費/無料
- 内容/環境展やリサイクルマーケットを行います。家族で、友達で、工作やゲームで楽しみながら環境問題について体験を通して学んでもらえるイベントです。
- 問い合わせ先/(社)上野青年会議所 Tel.0595-23-0943 Fax.0595-21-3214 E-mail ueno-jc@e-net.or.jp
- 主催/(社)上野青年会議所、上野市環境保全市民会議

NHK障害福祉フォーラム 街の中の自閉症児・者 あなたのとりのレインマン



- とき/6月18日(日)AM 10:00~PM4:30
- ところ/久居市総合福祉会館(久居市東鷹跡町20-2
Tel.059-256-7110)
- 参加費/無料(事前にお申し込みください)
- 内容/自閉症と呼ばれる人たちが、障害のため色々なことが理解しにくく困っていること、不便を抱えて生活していることを、理解していただくため自閉症とはどんな障害なのか、どんな援助や手助けを必要としているのかを、周囲のみなさんに理解してもらいながら、みんなで考えるフォーラムにしたいと思います。
- 主催/午前中は豊田市子ども発達センター所長の高橋脩さんによる基調講演を、午後からはシンポジウムと質疑・応答を予定しています。たくさんの方々のご参加をお待ち致しております。

- 募集人数／300人
- 応募締切／定員になり次第締切。
- 申込方法／申込書に必要事項を記入の上、郵送かFaxにて下記まで。
- 申込・問い合わせ先／514-8531 津市丸之内養正町4-8 NHK津放送局『障害福祉フォーラム』係 Tel.059-229-3012 Fax.059-229-3019 514-0818 津市城山3丁目9-20(社団)日本自閉症協会三重県支部事務局(横山美香) Tel.&Fax. 059-234-9477
- 主催／津放送局、厚生文化事業団中部支局、社団法人日本自閉症協会三重県支部、久居市
- 後援／三重県、三重県教育委員会、三重県社会福祉協議会、三重県特殊教育振興会、三重県盲・聾・養護学校長会、三重県障害児学級設置学校長会

ネットワーク のよびかけ

「地域活動支援事業」への 参加団体募集

広域的な社会教育活動(行事、調査研究、資料の作成など)を行う団体に、事業経費の一部を補助します。申し込み方法など詳しくは、お問い合わせください。

- 募集期間／5月8日(月)～31日(水)
- 対象団体／県内の社会教育関係団体
- 補助額／20万円～150万円(経費の1/2以内)
- 問い合わせ先／生涯学習課／Tel.059-224-2982 Fax.059-224-3022

劇団四季ファミリーミュージカル 「ふたりのロッセ」公演実行委員募集

津子どもNPOセンターは子どもに心の体験の場の一つとして生の舞台鑑賞を企画しています。劇団四季は大型作品からくる臨場感、迫力、そこから伝わる心情など、たくさんの人と共有したいと思っています。そこでいろいろな方と楽しい実行委員会をつくっていきたいと考えています。興味のある方はぜひ参加してください。

- 応募締切／5月10日(水)
- 公演日／10月1日(日)PM6:00開演 三重県総合文化センター大ホールにて
- 問い合わせ先／津市島崎町132-40 津子どもNPOセンター Tel.&Fax. 059-225-1404

三重環境県民会議に 委員として参加しませんか!

近年の環境問題は、私たちの日々の生活や産業活動そのものが原因ともいえ、県民、市民団体、事業者などが、自らと環境の関わりを認識し自主的に行動することが求められています。

三重環境県民会議は、草の根的な活動から県民全体が参加できる活動まで、多様で自主的な環境活動をより活発にして広めることに取り組む、県民が主体となって運営する組織です。

具体的には、環境保全活動などの企画および実施、環境保全活動への支援、環境に関する情報の収集および発信を行います。環境創造活動助成金制度も、三重環境県民会議の事業のひとつです。このたび、三重環境県民会議の委員として積極的に参画していただける方を、以下のとおり広く募集します。あなたの思いや知識、あるいは行動力を発揮してみませんか。

【こんな方を募集します】

- 次の要件全部に該当する方を募集します。
 - 県民、市民団体、事業者などの自主的な環境活動を盛り上げていきたいという熱意のある方。
 - 事業の実施に向けて、積極的に行動できる方。
 - 三重県内に在住あるいは勤務している方。
- なお、三重環境県民会議の会議は、今までのところ平日の夜や休日に津市近辺で行われています。

- 応募締切／5月31日(水)必着
- 募集人数／3人程度(任期は平成13年3月末日まで)
- 申込方法／氏名、住所などを記入した応募用紙と、三重環境県民会議の趣旨を理解されたうえで、三重環境県民会議においてどういう役割を担えるかについて400字程度にまとめたものを下記まで郵送、Fax、E-mailのいずれかで送付してください。

- 申込・問い合わせ先／510-0304 安芸郡河芸町上野3258 (財)三重県環境保全事業団内 三重環境県民会議事務局(福田、川本) Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518 E-mail kawamoto1@mec.or.jp

(財) 三重ボランティア基金

フリーマーケット 出店 ボランティアグループ募集

- 内容／2001年はボランティア国際年です。このフリーマーケットをボランティアの出会い、ふれあい、分かち合いの機会にしてください。出店料は無料です。
- とき／6月11日(日)AM10:00～PM3:00
- ところ／三重県社会福祉会館3階
- 申込先／三重県社会福祉協議会 Tel.059-227-5145
- 問い合わせ先／三重県ボランティア基金 Tel.059-227-9994
- 主催／(財)三重ボランティア基金、三重県高校生ボランティアネットワーク

..... 大学生&NPO 2001年 ボランティア国際年だよ! プロポーズ大作戦 全員集合!! 参加団体募集

NPOのお見合い企画第2弾!今度のお相手は若い!!

大学生にも市民活動を広げよう。大学生だってボランティアに興味はあるはず。このような機会があれば、きっと参加してくれると信じたこの企画。みなさんの団体でも大学生を巻き込んでみませんか。当日ブース出展して下さる団体を募集しております!また、事務局と一緒に企画・運営していただける方も募集しています。

- (日程・内容等は予定です。)
- とき／6月下旬～7月上旬の水曜日、土曜日(2回予定)
- ところ／三重大学・三重短期大学(予定)
- 参加費／無料
- 内容／【講演会】ボランティア・NPOを知ろう。【NPOPRタイム】各

団体にPRをしていただきます。【懇談会】参加NPOによるブース出展形式で自由に学生と懇談。

●問い合わせ先／514-0004 津市栄町1-954 三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター内 仲人隊事務局 Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072

●主催／仲人隊、三重県生活課NPO室

はじめまして…

共同連三重《ゆいまーる》をどうぞよろしく!

「共同連とは「差別と闘う共同連全国連合」のことで、障害のある人ない人がともに働ける場をきずき、生活・労働権の確立をめざして1984年に結成されました。共働事業所づくりを最重要課題としてあらゆる差別と闘う団体です。

私たちは、99年2月に「共同連三重準備会」を発足させて以来、巡回訪問による物品販売、季節の特別物品販売、シンポジウムの開催などを展開してきました。

こうした1年間の活動やみなさんのご支援を基礎に、このたび津市内に店舗をもうけ、本格的な事業の展開に踏み出すことになり、岩田橋近く新町通り南側に4/22(土)にオープンしました。店舗であつかう商品は、無添加自然食品を中心に、日常生活用品も用意していきたいと思っています。

前途多難な小さな船出ですが、みなさんのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

●共同連三重《ゆいまーる》 津市丸之内1-9

第1回子ども・NPO全国フォーラム関連事業 演劇表現ワークショップ参加者募集

2001年3月24日(土)に三重県で行われる第1回子ども・NPO全国フォーラムでは会の社会化と、子どもの活動を目的に取り組んでいます。具体的には、表現活動(A:演劇表現、B:手作り楽器、よさこいソーランetc.C:インターネット上での子ども会議、フリーマーケット)を通じて地域で三世代のたくさんの方々と、一緒に表現の体験をしていきたいと思っています。

なかでも演劇表現は表現の中でもさまざまな分野の表現が含まれている総合表現。ワークショップを重ねながら、自己表現をし、舞台づくりをしていきますが、このワークショップへの参加者を募集しています。講師は劇団パノラマ☆アワー主宰の右来左往(みぎきさおう)さんです。

●とき／2000年6月～11月中旬(10回程度)

●ところ／(紀南、伊勢、松阪、津、亀山、鈴鹿、四日市、桑名)県内8箇所で開催

●参加費／会員20000円、会員外23000円

●主催・問い合わせ先／特定非営利活動法人子ども劇場三重県センター Tel.059-223-4944 またはお近くの子どもの劇場。

第12回車イス体験・ふれあいウォークラリー大会 (第17回全国一斉ウォークラリー大会)に 参加してみませんか?

ボランティアスタッフも募集中です!

ウォークラリーとは、渡されたコース図を解読しながらコースをまわり、コース上に15ほどあるチェックポイントでゲームやクイズを楽しむレクリエーションスポーツです。津会場での車イスウォークラリーは、福祉をテーマにしています。参加チームごとに車イスを貸し交代で乗り、自分たちの街のバリアフリーの様子を体験してもらうことと、日頃、家にとじこもりがちな障害者のみなさんに外で一日楽しく遊

んでいただくことを目的に、毎年1回開催しています。毎年150人を超えるボランティアスタッフの協力により実施してきました。この実行委員会は、ウォークラリー終了後はとどろき解散しますので、ボランティア活動の入門にはピッタリです。ルンルン気分、多数のご参加をお待ち申し上げています。

●とき／5月28日(日)(雨天時6月4日に延期)

●実行委員会／毎週金曜日PM5:00～、津市社会福祉センター1階(津市丸之内27-10、津警察署北)

※だれでも気軽に参加できますので、一度のぞいてみてください。

●問い合わせ／津市社会福祉協議会(赤塚、林) Tel.059-227-6548

防災ボランティアコーディネーター 養成協議会委員の募集

災害時などに、被災地のニーズと現地に駆けつけたボランティアなどの調整役(コーディネーター)を志す方を募集します。なお、その方には、コーディネーターとしての知識を学びながら、養成方法やカリキュラムづくりをしていただきます。

●応募締切／6月15日(木)

●委員の任期／7月～3月末 ●募集人数／20人程度

●対象者／県内に在住または勤務している人

●募集方法／所定の申込用紙と共にボランティアの活動実績や、防災についての考え等を800字程度にまとめて下記まで。

●申込・問い合わせ先／津市広明町13番地消防防災課防災・情報Gグループ三重県地域振興部消防防災課

Tel.059-224-2184 Fax.059-224-2199

E-mail shobo@pref.mie.jp

フリーマーケット情報

資源のリサイクルと共に、市民活動団体の活動資金集めの場としてフリーマーケットが欠かせないものになっています。市民グループが主催するフリーマーケット情報を教えてください。

【中勢フリーマーケット協会の開催予定】

●4月30日(日)弁天山公園(鈴鹿ハンター横)
会員1000円、非会員1500円

●5月13日(土)アムスクウェア前市民公園(四日市)
会員、非会員共2000円または3000円(販売商品によってブース料が違います)ただし、駐車場料金が別途必要の予定。

●5月14日(日)久居総合体育館
会員1000円、非会員1300円 ※環境フェアと同時開催。

●申込方法／通信欄に日にちとブース数、会員の場合会員ナンバーを明記して、中勢フリーマーケット協会口座 郵便振替00870-0-121921 まで。Faxは事前に必要ありません。

●申込・問い合わせ先／安芸郡河芸町大字中別保2434-5 中勢マーケット協会(若林都史子) Fax.059-245-2536
Tel.(携帯)090-7027-4334(平日PM4:00以降に)

【フリーマーケットinシティーパークの予定】

●とき／毎月第1日曜日(但し、1、2、8月を除く)

5月7日(日)AM10:00～PM4:00(雨天の場合、翌週)

●ところ／四日市市民公園(四日市市安島1丁目)

●申込・問い合わせ先／三重県フリーマーケット協会事務局
Tel.0593-55-2939

●主催／フリーマーケットinシティーパーク実行委員会

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき／毎月第4日曜日
5月28日(日)AM10:00~PM3:00(雨天中止)
●ところ／近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上
●参加費／1ブース500円
●申込・問い合わせ先／久居フリーマーケット連絡会(山口登)
Tel.059-252-2117
E-mail issniki@quartz.ocn.ne.jp

【パールロード・フリーマーケット出店募集】

●とき／平成12年5、6、9、10、11月の第2・4日曜日
5月14、28日(日)AM9:00~PM3:00
●ところ／鳥羽展望台
●出店料／500円(2m×3mのスペース)
●内容／募集対象者は個人、グループなど。1回の開催で20ブース募集。展望台との類似商品の販売は禁止です。
●問い合わせ先／516-0021 伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4
(財)三重ビジターズ推進機構総務企画グループ(上村)
Tel.0596-22-7700

助成金 ニュース

(財)女性のためのアジア平和国民基金 女性の人権に関するNGO活動支援

●受付締切／4月28日(金)必着
●助成の目的／女性が人権を侵害されずに一人の人間として自立し、自分の生き方を決め、その能力を発揮できる社会の実現を目的として、アジア女性基金では、様々なグループや団体への活動を支援します。
●助成の対象となる団体／
a) 女性の基本的人権に関する活動などの実績、能力があること。
b) 特定の政党や宗教に偏らない団体であること。
c) 原則として活動の本拠としての事務所を日本国内に有すること。
d) 非営利団体であること。
e) 定款、寄付行為またはこれに準ずる規約などを有すること。
f) 会計事務を適正に処理することができる体制を備えていること。
●助成の対象となる活動／
a) 女性に対する暴力など女性の基本的人権の尊重に関わる事業(講演会の開催など)。
b) 被害者などを含む女性の自立につながる支援についての啓発パンフレットの作成など。
c) 女性に対する暴力や人権侵害の被害者への支援の広報・啓発用資料の作成など。
d) ただし、他の団体などへの資金の補助、支援などを内容とする事業は対象としません。
●助成対象事業の期間／平成12年4月1日~平成12年12月10日
●助成の額／「女性の基本的人権の尊重に関わる広報活動への支援」市民団体の広報活動に必要な支援を行います。写真や他の国の言語への翻訳などを含む、幅広い支援を10~100万円を上限として予算の範囲で行います。
「女性の自立支援」暴力や人権侵害など、さまざまな理由で自立を妨げられた女性たちへの直接、あるいは間接の支援を行っている団体の広報・啓発に関する事業に支援を行います。支援は50~500万円を上限として予算の範囲内で行います。
●応募方法／指定の支援申請書を請求してください。
●問い合わせ先／(財)女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)
107-0052 東京都港区赤坂2-17-42 赤坂アネックス4階 Tel.03-3583-9322 Fax.03-3583-9321 E-mail dignity@awf.or.jp
ホームページ <http://www.awf.or.jp>

(財)安田生命社会事業団研究助成・実践奨励募集

●受付締切／5月8日(月)必着
●助成の目的／児童青少年の健全育成と精神発達障害児の療育に関する事業および家族・家庭を取り巻く問題と高齢者に関する事業の推進。
●助成の対象となる団体または個人／
1、当財団の講座・講演会の講師や刊行図書の執筆者などの個人(グループ研究

を含む)ならびにその個人が所属する団体。
2、上記1の方からの推薦による個人(グループ研究を含む)ならびに団体。
3、当財団主催の講座や研究会などの参加者、実践情報通信誌「マインディックスぷらざ」の購読者(含む大学(院)生)。
4、そのほか、当財団が認めた方。
なお、過去に他機関から助成を受けたテーマによる応募と同一テーマの継続助成は除外。

●助成の対象となる活動／

1、研究助成(心理学的研究・医学的研究・社会学的研究)
(1) 乳幼児期から学童思春期の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:児童青少年精神医学、小児科学、教育学、心理学、社会学など)についての基礎的・臨床的な研究とします。
(2) 家族・家庭の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:家族精神医学、心理学、人間関係学など)についての基礎的・臨床的な研究とします。
(3) 高齢者の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:老年精神医学、心理学、社会学など)についての基本的・臨床的な研究とします。
2、実践奨励
(1) 乳幼児期から学童思春期の子どもの問題や家族・家庭のかかわる実践現場での調査・活動などを支援・奨励します。特に、保育・教育機関、福祉施設、子どもや家族・家庭問題の相談室などの現場での指導・活動などを歓迎します。
(2) 高齢者問題に取り組む医療・福祉など、現場での調査・活動を支援・奨励します。(例:老人ホーム、痴呆性高齢者施設、高齢者在宅サービスセンターなどの老人福祉施設、保健所、病院などの医療機関およびボランティア活動)
●助成対象事業の期間／助成金交付から1年以内。
●助成の額／研究助成、実践奨励共にそれぞれ20件をめどにします。研究助成は1件50万円、実践奨励は1件20万円が限度です。
●応募方法／所定の申請書に必要事項を記入し下記まで郵送。申請書は安田生命の本社ならびに最寄りの本部・支社にあります。
●問い合わせ先／(財)安田生命社会事業団研究助成担当係 170-0013 東京都豊島区東池袋1-34-5 Tel.03-3986-7021 Fax.03-3590-7705
ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~ymind/>

子育て支援基金助成事業 追加募集

●受付締切／5月19日(金)消印有効
●助成の目的／平成12年度予算において、子育て支援基金が増資されたことに伴い(900から1,300億円)、ただいま平成12年度の助成事業を追加募集しています。今回の追加募集は、思春期にある児童の問題や、昨今社会問題となっている児童虐待、小・中学生のボランティア活動の推進などの事業を行う団体に対して、重点的に助成することによって、小・中学生や小・中学生のいる家庭に対する支援を図り、子育て支援及び青少年の非行防止・健全育成などの推進を図ることを目的としております。
●助成の対象となる活動／小・中学生や小・中学生のいる家庭に対する支援事業に関すること。(事業例:児童虐待防止のための広報啓発活動、引きこもり児童や不登校児童に関する事業、ふれあい地域づくり事業、児童買春・児童ポルノなどに関する広報啓発活動、小・中学生のボランティア活動育成事業ほか)
●助成対象事業の期間／平成13年3月31日までに完了するもの。
●応募方法／募集要領などを下記まで請求。
●問い合わせ先／社会福祉・医療事業団 基金事業部 振興第二課 105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 秀和神谷町ビル9階 Tel.03-3438-9946 (直通) Fax.03-3438-0218
ホームページ <http://www.wam.go.jp/wam/>

(財)ハウジングアンドコミュニティ財団

—地域づくり活動支援助成2000—

●受付締切／5月22日(月)
●助成の目的／試行的に新たな助成事業を実施します。テーマは「知恵のネットワーク」。地域に根ざしたまちづくりに取り組んでいる市民主体のグループが活動をより豊かで活発なものとするためには、多様な人々・グループとのネットワークや情報交流を密にするなかで様々な知恵を身につけていくこと、つまり知恵のネットワークを育てていくことが重要になります。活動を活性化するためにはどんな「知恵のネットワーク」ができるか、みなさんのアイデアを募集します。そしてそれを実践してください。意欲に満ちた方々のユニークな提案をお待ちしています。
●助成の対象となる団体／地域密着型で地域を元気にし、魅力あるものにしていく活動に取り組む住民主体のグループ・団体。特定非営利活動法人も含まれます。

助成の対象となる活動 / 活動例:地域固有の文化・伝統・産業などを活かしながら、地域やまちを元気にする取り組み。・中心市街地に活気を取り戻そうとする取り組み。地域づくり・まちづくりのきっかけになるような身近にあるいろいろな魅力や可能性を探し出そうとする取り組み。自分たちの暮らしを見つめ直し、より暮らしやすい環境の実現を目指す取り組みなど。

助成対象事業の期間 / 平成12年7月1日～平成13年3月31日

助成の額 / 1件あたり100万円を限度とし、10～15件程度を予定。

応募方法 / 応募要項および応募用紙はホームページからダウンロードし、A4サイズの用紙にプリントアウトして使用してください。郵送希望の方は5月15日(月)必着で送料分の切手(1部140円)を同封し、下記住所の「知恵のネットワーク」係まで請求。

問い合わせ先 / (財)ハウジングアンドコミュニティ財団 105-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階

Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823

ホームページ<http://www.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/>

キリン福祉財団社会福祉助成

受付締切 / 5月31日(水)消印有効

助成の対象となる団体 / 福祉を目的とする民間団体。法人格の有無不問。

助成の対象となる活動 / 障害者・高齢者による地域福祉に関するボランティア活動。(例:障害者・高齢者の自立支援活動、障害者・高齢者の児童健全育成活動、障害者・高齢者のサービス活動、在宅介護者へのネットワークづくり活動、障害者・高齢者の相互支援(友愛訪問など)活動など)ただし、以下は対象外となります。

1、助成金の使途で人件費、リース料などの運営費などの経費負担および設備費負担(機材、備品、設備の購入)となるもの。

2、行政、他財団からも助成を受けているもの。

助成対象事業の期間 / 単年度事業

助成の額 / 総額1500万円。1件あたり上限は100万円。

応募方法 / 所定の申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求してください。なお、今年度の事業は障害者・高齢者自身による活動が主体であるため、高齢者団体については活動メンバーの年齢を、障害者団体については障害の有無を団体活動メンバー表に必ず記入のうえ、提出してください。

申込・問い合わせ先 / (財)キリン福祉財団事務局 104-8288 東京都中央区新川2-10-1 Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525

(財)電気通信普及財団

電気通信を利用した福祉、文化事業への助成

受付締切 / 5月31日(水)

助成の目的 / 広く電気通信を普及、発展させることにより、高度情報社会の健全な進展を図り、わが国社会経済の発展に寄与すること。

助成の対象となる活動 /

1、平成12年10月以降に開催される電気通信に関するシンポジウム、セミナー開催及び電気通信の普及、振興に著しく貢献する事業。

2、電気通信を利用したボランティア活動。

助成の対象となる団体 / 電気通信を利用したボランティア活動の場合、社会福祉協議会にボランティア団体の推薦依頼を行います。

応募方法 / 所定の申込書を下記に請求し、送付。

問い合わせ先 / (財)電気通信普及財団 105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5階

Tel.03-3580-3411 Fax.03-3580-3488

ホームページ <http://www.taf.or.jp/>

(財)大同生命厚生事業団の

サラリーマン(ウーマン)ボランティア助成他

受付締切 / 両助成とも6月2日(金)必着

【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】

助成の目的 / サラリーマン(ウーマン)のボランティア活動を支援することによりサラリーマン(ウーマン)のボランティア活動の振興と老人在宅福祉の向上に寄与すること。

助成の対象となる団体または個人 / 老人在宅福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているかまたは行おうとしているサラリーマン(ウーマン)個人、グループ。ただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く。

助成の対象となる活動 / 老人の在宅保健・福祉・介護に直接関与するもので、目的、計画などが明確な日本国内での無償の活動。ただし、ボランティアグループ

のためのセミナー、講習会などの開催に関するものは除きます。

助成の額 / 総額600万円以内。1件30万円(最高)20件以内。

【地域保健福祉研究助成】

助成の対象となる団体または個人 /

1、保健所、衛生研究所など衛生関係機関に所属する職員。

2、都道府県市町村の衛生および福祉関係職員。

3、保健・医療・福祉の実務従事者。

助成の額 / 総額3750万円以内。1件50万円(最高)75件以内。

... ..

応募方法 / 両助成ともFaxまたは電話などで下記まで所定の申込書を請求するか、ホームページからダウンロードし、B4サイズの用紙にプリントして使用してください。なお、研究助成は応募区分を明確にしてください。また、同時に両助成への応募はできません。

問い合わせ先 / (財)大同生命厚生事業団事務局 564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-5 大同生命江坂第2ビル内 Tel.06-6330-8452(代)

Fax.06-6330-8652 E-mail info@daido-life-welfare.or.jp

ホームページ <http://www.daido-life-welfare.or.jp>

(財)太陽生命ひまわり厚生財団社会福祉助成事業

受付締切 / 6月30日(金)必着

助成の目的 / 高齢者福祉に関する事業や研究・調査への助成、ならびに障害者の自立、社会参加などに関する事業への助成活動も行います。また、本年度発足の介護保険制度に対応した助成活動も併せて行っています。

助成の対象となる団体または個人 / 社会福祉の向上に寄与するという財団の目的を達成することができる非営利の民間団体、個人など。

助成の対象となる活動 /

1、事業助成

(1)在宅高齢者などの福祉に関する事業への助成。

(2)介護保険制度発足に伴う諸事情の激変緩和に関する事業への助成。

(3)リハビリ訓練中の、あるいはリハビリが必要な高齢者などの精神生活の高揚に資する事業への助成。

(4)民間ボランティアグループなどへの助成。

(5)障害者の福祉に関する事業への助成。

2、研究助成

(1)老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究、調査などへの助成。

助成の額 / 総額5000万円

応募方法 / 所定の申込書に必要事項を記入し下記まで。申込書は応募申込者の団体名、住所、氏名を記入し、Faxまたは郵便で下記まで請求してください。

問い合わせ先 / (財)太陽生命ひまわり厚生財団事務局 103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2 太陽生命ビル内Tel.&Fax.03-3272-6268

丸紅基金社会福祉助成事業

受付締切 / 6月30日(金)消印有効

助成の対象となる団体 / 日本における社会福祉を目的とする民間の事業で、原則として法人。

助成の対象となる活動 /

1、明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間があきらかな企画。

2、一般的な経費不足の補填でないこと。

3、原則として国や地方公共団体の公的補助、もしくは他の民間機関からの助成と重複しないこと。

4、助成金が目的通りの用途に供されることが確実であること。

助成の額 / 総額1億円をめぐりに50件以上の助成を行います。

応募方法 / 所定の申込用紙に必要事項を記入し、所定の添付書類と共に送付。申込用紙は郵便番号と住所、団体名、電話番号、Fax番号、丸紅基金の助成を知った経緯を明記し、ハガキまたはFaxにて下記まで請求してください。

問い合わせ先 / 社会福祉法人丸紅基金 101-0054東京都千代田区神田錦町2-11 NKFビル4階 Tel.03-3282-2474・03-3282-7014

Fax.03-3282-2462

E-mail mc-kikin@mx2.nisiq.net

ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/home/kikin/fund.htm>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。そのホームページには多くの助成金情報が集まっていますのでご紹介いたします。<http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。大西さんからバトンを受け取ったのは仕事で繋がりのある堀端脩さん。堀端さんは防災ボランティアネットワーク松阪の代表世話人で、松阪のネットワークの要となる一人でもあります。

ネットワークと関わるのが大切

……堀端さんの活動は防災ボランティアネットワーク松阪(以下DVNetと略)が中心なんですか？

この前、自分でもどれぐらいの団体に関わってるのかなあと書いて書き出してみただけで16ぐらいありましたね。仕事の組合もひっくるめてですけど。仕事以外となるとDVNetから始まって、県内の災害ボランティアのネットワークである災害救援ネットワークみえ(NADみえ)の事務局を今年から担当することになったほか、松阪社会福祉協議会の主催するイベントでのもちつきボランティア。あと、地元にも関わらなくちゃと思って地元公民館の役を受けたら2年目に最年少なのに文化会長に抜擢されて…。あと、地域でも自主防災など防災に関する集まりがありますから、それをDVNetの活動と繋げたいとも考えています。そのほか、僕はどこの政党を支持しているというわけではないんですけど、政治の人たちとつきあうことも大事なことだと思ってます。政治家とか行政、市民団体や市民の人と同じレベルでつきあったらいいと思ってますね。

……会を代表してというのではなく、個人として動くんですね。あと、地球人倶楽部と自然探究会にも入っていますね。こちらに入ったら、向こうにもってね。(笑)自然探究会の三谷さん(2000年2月号のリレーインタビューで紹介)は松阪シティネットと一緒に活動している仲間でもあります。地球人倶楽部はDVNetに入る前から参加しているんですよ。ゆるやかな繋がりですね。

防災ボランティアネットワーク松阪 代表世話人

堀端脩さんに

聞く

……松阪のネットワークになんらかの関わりをもっているんですね。

ネットワークと関わりを持つことが大切だと思ってます。

……松阪社会福祉協議会とも繋がりを持っているんですね。僕が松阪社会福祉協議会と関わったのはDVNetを始める前なんです。当時、流行った啓発セミナーに中小企業の経営者として活性化の一つの方法という意味もあって参加したんですが、それに参加した人が松阪周辺で100人くらいいたんです。それでその人たちに呼びかけてイルカクラブという会をつくったんです。テーマというかわたい文句は「共に勝つ」。共に前向きに援助しあいながら幸せになっていくという意味ですね。このテーマで松阪社会福祉協議会の次長さ

んに講演をしてもらおうと出向いたのが最初です。その時にちょうど「ふれあいのつどい」をしていたんです。これは健康者と障害を持つ人々が一緒になって年に1回行うイベントなんです。この時、松阪社会福祉協議会の敷地で行っていたんですが、それを見ながらコーディネーターの女性が「若い男の人がどんどん関わってくれて、昼間に屋外でできたらいいんだけど」と話していたんですよ。当時の社会福祉協議会といえば福祉分野が中心で、参加するの中高年の女性ばかり。そういう展開ができなかったんですね。それで何か手伝えることはないかと考えて始めたのがもちつきボランティアだったんです。障害を持つ人たちにもついてもらってね。この時から外に会場を借りるようになりました。

……堀端さんがたまたま行って、支援しはじめたことがふれあいのつどいが大きくなるきっかけのひとつになったんですね。というか、福祉分野以外のグループも参加したりと、松阪社会福祉協議会の考え方もぼちぼち変わってきたんでしょう。この前も松阪子ども劇場さんからイベントの日が重なっているから、一緒にしないかという話が出たんですよ。話しているうちに子ども劇場さんから障害を持った人々と子どもたちがふれあう場をつくってあげたいという意見が出てきて、自分たちのイベントは先延ばしにするから、ふれあいのつどいにぜひ参加したいと言ってくれたんです。

……堀端さんが新しい流れをつくったようなものですね。

もちつきも最初は外の方でしてくださいって感じだったんですよ。それが去年からメイン行事になりまして。今年で5年目になるんですが、これがないことには始まらないと。

……実績を積み重ねた結果なんですね。

ふれあいのつどい以外にもチェリーフレンドという双子の子どもを持つ親の会に呼ばれてしたりね。もちつきの会は会という感じでつくってないんですよ。何かあった時だけでもちつきのボランティアが集まって。誰でも自由に手伝いに来てと呼びかけているんで、年々によってメンバーもある程度替わります。

常に前向きに…DVNet誕生

……DVNetを始めたいきさつを教えてください。

やはり阪神淡路大震災ですね。この時は義援活動や物資を送るくらいしかできませんでした。その後、松阪社会福祉協議会に関わるようになってから日本海の重油事故が起こりました。この時にはぜひ自分の目で見てみたいという思いが募りました。そうしたら松阪青年会議所のメンバーから「どこそこへ行けば単独でもボランティアできるよ」と教えてもらって、早速行きました。向こうで活動しながら、若い子たちが全国から集まってくるのを見て、「いざ災害」という時の体制をつくる必要をすごく感じました。その時にちょうど、松阪社会福祉協議会の方からもそういった集まりを松阪につくってもらえないだろうかという話が出たんです。最初は現在の中心メンバーである天理教ひのきしん隊事務局長の佐藤さんや今年、三重県商工会議所青年部の会長をしている野呂さんなど3人くらいに声をかけて、そしたら

前向きな人たちが集まってまたたく間に20人ぐらいになって発足したんです。

……最初から会長だったんですか？

取りあえず発起人ということで代表世話人という感じでしょうか。

……防災ボランティアでは普段、活動することがないのでは？そこなんです。これまでNADみえでは、どちらかといえば県外に発信するというか、個人のコーディネーターの養成を主にやっていたんです。力量をつけるために色々なイベントで体験しながら学ぶ方法もいいんですが、僕は地域の人々と一緒になって体験しながら、そのなかから防災の意識と力をつけていくことが大切だと思うんです。それが災害時には威力を発揮するするんじゃないかなと思うんです。今年、松阪でNADみえの事務局を担当するんですが、この秋に足元を見つめ直すようなイベントを計画しているところです。

地域の人々と一緒になって体験しながら、そのなかから防災の意識と力をつけていくことが大切だと思うんです。

……普段の関係を防災に繋げようとする、防災のグループだけじゃなく、周りのグループとのつながりも必要では？

そうですね。ただネットワークのなかではいろんな問題も出てくるんです。例えば自分のグループを売り込みたいという人が多かったですね。僕自身は松阪シティネットの世話人会に入った以上はDVNetのことはこの集まりのなかでは一切言わないと言っているんです。

……そのスタンスは凄いですね。それはいかにみんなの関係を広げていくかということが中心だということでしょう。

できれば拠点を中心としていろんな団体が情報を共有しあって、また市民の人たちに伝えられる場となったら。まあ、市民活動センターの市民版とでもいうか。そういうものをぜひつくりたいですね。四日市の方も市が力を入れてできているでしょう。今、そのための動きが少しあるんです。松阪の商工会議所の青年部が駅前商店街と話し合いをして、1年間空き店舗を格安で借りることになったんです。それを青年部のメンバーからまた貸しの形で借りて、シティネットで試しに1週間くらいやってみようかと計画が出ています。

……有償スタッフとかの構想は？

商店街のなかですから朝の10時から夕方6時まで開けておく必要があるんです。土日だけ貸してもらおうならどうかなるでしょうけど、平日となると…。全体をまとめて有償ボランティアというか、誰か安い経費でももらえないかと考えています。僕としては駅前の商店街で店を構えている人と知り合いなので、以前から理事長さん、副理事長さん、事務局長さんと何度か話をさせてもらったり、シティネットの会議にも来てもらったりしたんです。駅前以外の商店街の方にも来てもらって。互いに相乗効果がでるような場所ということで話しています。あと、市の観光課の人にも話しかけて。市の総務課の方が市民活動に理解ある人なんで参加してもらっています。

……行政も巻き込んでいくというのが上手ですね。

DVNetで感じたのは行政と仲良くする必要があります。なかにはものわりの悪い人もいましたが(笑)、重ねて活動しているうちに市民活動に理解のある人も出てきました。1度成功すると2回目からころっと変



昨年、松阪の自主防災グループが集まって行ったワークショップ。

わるということもあるじゃないですか。この3年間、いろいろやってきてようやく行政と市民活動団体とのつながりが密になってきたというか。特にDVNetの活動については理解をいただきつつあると思っています。それをなんとか他に繋げたいですね。

……常に前向きな活動をしているんですね。

最初に津の防災訓練に参加した時なんか「僕ら何をしたらいいのかわからん」という状態でしたよ。ただ啓発セミナーに行ったことをきっかけにして前向き性が出ました。それまではどちらかといえば引込み思案だったんですが、仕事にしても何にしてもすぐに動くようになりましたね。まず、業界の若手が集まる会で会長に立候補したんです。それがいい体験になりました。自分が前向きであればいろんなところで頭を打つけれど、協力してくれる人もたくさんいると自信がついたんです。それからいろんなことをやっているうちに徐々に、大したことはできないけど、自分なりにまずやってみようじゃないかという気持ちになりました。動いているうちにいい人にも出会います。動かないと人に突き当たらないんですね。

……人との出会いを大切にすると？

ぼくは現在のメンバーと出会ったことがDVNetを続けてこれた理由だと思います。例えばワークショップをやる時の仕掛け人は他のメンバーに任せて、僕は小使い。代表はそれでいいんです。いろんな条件の人たちが参加している団体だから、どこかで小使いする人がいないとだめ。みんなが平等にそれぞれ役割をもってというのが理想だけど、なかなかそうはいかないでしょう。

……事務処理となると色々仕事があるでしょう？

補助金の決算報告など難しいことは人を抜擢してお願いします。一番大切なのはこまめな連絡網。ずっと連絡していれば2、3回に1回はいつも連絡もらうから来てくれるでしょう。集まってくれば、人間関係もできてくるし、そうすると参加意識もついてきます。これがFaxや留守番電話だけでは絶対に市民活動なんていうのは広がりを見せないでしょう。続けていくのも難しいと思うな。

防災ボランティア・ネットワーク松阪 (DVNet)

代表/堀端脩

Tel.0598-21-2183 Fax.0598-21-2358

堀端脩さんはこの人を紹介します。

鈴木寿子(すずきひさこ)さん

久居市で活動する「遊YOUクラブ」の代表。三重県レクリエーション協会の事務局長でもある彼女が運営するこのクラブは子ども会員制。月に1度野外レクリエーション活動を行っています。



一昨年行われた三重県防災訓練ではDIG(災害図上訓練)の実演を行いました。

編集後記

イベント情報からよびかけ、助成金情報までたくさんの情報が集まり、いつものページでは収まらなくなった今号。2ページ増の特別号としてお届けします。ぜひ、皆さんの活動に役立ててください。また、皆さんからの情報、ご意見、ご要望もお待ちしております。郵送、ファックス、E-mailなどで気軽にご連絡を。